



ブラ “アモリ”

～地元・安茂里について学ぶ～

館報 あもり

発行所
長野市立安茂里公民館
電話 226-4059
発行人 新見 宏司
発行月 5.7.9.11.1.3月
(株) 信光社

安茂里地区 世帯数と人口 (10月1日現在)	
世帯数	9,118戸
総人口	20,180人
男	9,687人
女	10,493人

昨春から長野市の公民館や社会評議委員の間でもその講座名に注目が集まる「ブラアモリ」。 「タモリが安茂里に来る」という何の根拠もない噂が広がったり、テレビの取材を受けたりと、様々な話題を提供してきたものです。 去年の「街道・ふるさと再発見」に続いて、2年目の今年は「水」をテーマに学び、1回目の6月は「故郷の水を巡って」と題して私たちに欠かすことのできない上水道について犀川浄水場や夏目ヶ原浄水場などを巡りました。そして9月6日の2回目は、大地を潤す「用水」について勉強しました。最初に犀川から取水し広く善光寺平を潤す犀川幹線導水路と日赤・大豆島方面への用水の二つの堰に分水する犀川団地西にある流入口で、管理する善光寺平土地改良区の方からのように分水されているかの説明を聞きました。その後参加者全員で小市方面へ用水路に沿って歩いてみました。が立派

な用水路を見て、それぞれに感じるものがあつたようです。最後に県内の様々な雨ごい神事について勉強し、小市にある志奈埜市神社の権現様に全員で拝礼しこの日の講座は終了しました。そして10月7日、今年度最後の講座は弘化の地震・善光寺地震を中心に安茂里地区の災害について勉強しました。丁度御開帳期間と重なった地震は1万人を超える犠牲者を出したと言います。その甚大な被害をもたらした原因は、地震そのものの被害もありましたが、地震によって犀川を堰き止めることになった山崩れです。今の美篤橋、信州新町の道の駅付近で堰き止められた犀川の水は現在の生坂・山清路辺りまで達したそうです。地震発生から19日後、大音響とともに決壊した大水は安茂里地区だけでなく長野市各地に被害を及ぼし、小市村では87軒のうち34軒もの屋敷が流されてしまったという事です。この災害を受けて小市から川合新田まで堤防が作られました。現在も小市地区に残るその一部を見学しながら参加者は災害への備えの重要性を胸に刻んでいました。そして、もっと安茂里のことを知りたいと多くの人が来年度の講座に期待を膨らませていました。

足、今度は今月中に山々から雪の便りが届くようになりま。全国を代表する観光立県と言われた信州の冬を支えたスキー場、しかし県の統計によるとスキー観光客の減少が進み、平成4年度の2110万人がコロナ前の平成30年度には645万人にまで減少しています。その減少に比例してスキー場の数もピーク時の110か所から昨年度は79か所まで減ってしまいました。各スキー場は冬のスキーだけでなくグリーンシーズンに如何に観光客を呼び込めるかが存続の生命線となりました。ロープウェイで山頂駅まで上がり雲海を望めるカフェテラスを作った北志賀のスキー場、雄大な景色の中でトレッキングやマウンテンバイクを楽しむ、白馬三山を正面から望む絶景テラスとカフェを備えた夏のマウンテンリゾートとしてPRするスキー場、そして南信州の「日本一美しい星空を楽しめる」スキー場は一年を通してカップルで賑わいます。グリーンシーズンを含めた年間型リゾートエリアへ姿を変えようとするスキー場、改めて発想力・企画力の大切さを痛感させられます。

杏仁

紅葉前線が標高の高い山々から徐々に里の方へと下り、一日と秋の深まりを感じるようになりました。そして季節は駆け足、今度は今月中に山々から雪の便りが届くようになりま。全国を代表する観光立県と言われた信州の冬を支えたスキー場、しかし県の統計によるとスキー観光客の減少が進み、平成4年度の2110万人がコロナ前の平成30年度には645万人にまで減少しています。その減少に比例してスキー場の数もピーク時の110か所から昨年度は79か所まで減ってしまいました。各スキー場は冬のスキーだけでなくグリーンシーズンに如何に観光客を呼び込めるかが存続の生命線となりました。ロープウェイで山頂駅まで上がり雲海を望めるカフェテラスを作った北志賀のスキー場、雄大な景色の中でトレッキングやマウンテンバイクを楽しむ、白馬三山を正面から望む絶景テラスとカフェを備えた夏のマウンテンリゾートとしてPRするスキー場、そして南信州の「日本一美しい星空を楽しめる」スキー場は一年を通してカップルで賑わいます。グリーンシーズンを含めた年間型リゾートエリアへ姿を変えようとするスキー場、改めて発想力・企画力の大切さを痛感させられます。



芸術は爆発だ!

僕たちの作品見てね

なかよし広場

庄村光子先生

「今回は絵の具を使って大きな模造紙に絵を描きますので、汚れても良い服でご参加ください」「はい、わかりました」：そんな会話をしたはずなのに?？本当に大丈夫ですか：綺麗な服ですけど：お母さんも子供たちもみんな綺麗な服です。子供たちの暴れっぷりを考えると、ちょっと心配です。でも、水彩絵の具なので洗濯すれば大体のもののは落ちると考え：えええーい頑張つて素敵な絵を描きましょう。なかよし広場・お絵描きの時間スタートです。普段、自宅で絵筆を持つことはなかなか無いと思うので、公民館の広い部屋でおもいっきりお母さんと模造紙に絵筆を走らせ、楽しいと感じてくれれば良いな：と思ひながら子供たちの様子を観察していました。今年のなかよし広場の参加者は0歳から2歳児の子供たちが殆ど、絵筆を振り回し辺り一面絵の具だらけにし

ないか少し不安がありました。が最初のうちはお母さんと静かに模造紙に向き合っています。しかし、時間の経過とともに子供たちの本領が発揮されていきます。10分もすると我が子の手は絵の具だらけ、その手で誰かの服でも触れば、さあ大変です、お母さんは我が子のやんちゃぶりに手を焼きながらもタオル等で後始末に追われます。そして、とうとう模造紙の上に座り込んで作品に挑む男の子も出現、多くの子供たちが楽しそうです。筆の代わりに自分の手に絵の具をつけ、いくつもの手形を押していく子供も：まるで貞子じゃん!：かくして大騒ぎの中でも出来上がった前衛画家さんたちの作品、公民館の2階廊下に掲示されていきます。是非一度ご覧ください。



やさしいフルートの音色に魅せられて

フルートの調べ

杉山由一先生

日中の最高気温が30度を超

える厳しい残暑が続く中にも、少しづつ秋の気配を感じ始めた9月13日、公民館では一足早く芸術の秋に向けた杉山由一先生の「フルートの調べ」が開かれました。この日のプログラムはクラシックに始まり、美空ひばり、テレサテン、百恵ちゃんなど昭和の歌姫たちの曲、またカーペンターズやアランドロン主演の映画音楽など、演奏会に参加した多くの人たちが自らの青春時代を思い出すような曲が並びました。フルートはクラシックという堅いイメージがありますが、身近な曲や懐かしい曲を織り交ぜて聞きやすい演奏会にしようという先生の優しさを感じる演奏会となりました。コロナ禍で様々な音楽会が中止になったりと思うように計画できない状況が続いてきましたが、先生の見事な演奏は参加者にとって久しぶりに音楽の素晴らしさに触れる機会となったようで、2時間の演奏会もあっという間に終演となりました。また、曲の解説など様々なトークで盛り上げてくださった先生ですが、「フルートは息の半分が楽器の中に入り、半分は外に捨てるというイメージなんです。捨てる息がもったいないからと全部を管内に入れようとすると今度は音が出ない

んです。だから結構肺活量が必要で、優しい音色の裏でフルートという楽器は奏者にとっては大変なんですよ。」とフルートの知らない一面も教えていただきました。最後は皆さんの大きな拍手に先生もアンコールで応えてくださり、皆さん芸術の秋を満喫していました。



文学講座・松尾芭蕉の更科紀行

堀井正子先生

紀行は前書きの無い俳句が多いことが残念であるという事です。この前書きというのはその作品の主題・背景・成立事情などが分かる説明文のことというのですが更科紀行は殆んどこの前書きがありません。その理由として堀井先生は、更科紀行の翌年に芭蕉は5か月間の「奥の細道」の旅へ出るので、その大変な旅のリハーサル的なものとしてこの旅を位置づけ、翌年の準備の方が忙しかったのかもしれません。いずれにしても前書きがないのが残念と話されています。そして、俳句の前書きは短歌になると「詞書き」というそうです。また信州人には嬉しいことに、芭蕉は木曾義仲が大好きで弟子たちに「自分が死んだら義仲公の墓の隣に埋めてくれ」と頼んでいたそうで、実際に現在大津の義仲寺に仲良く眠っているそうです。堀井先生の優しい声の語り、参加者は木曾街道から善光寺街道を進む芭蕉の姿に想いを馳せながら楽しいひと時を過ごされました。





実りの秋

犀川神社 太々神楽と杜煙火を奉納

中国・武漢でコロナの感染が確認されてから、まもなく丸3年を迎えようとしています。未だ様々な方面、様々な形でその影響を受けています。旧久保寺村の産土神として犀川を見下ろす地に建つ犀川神社の秋の例大祭宵宮祭りも中止になって今年で3年目を迎えました。毎年9月21日の宵宮祭りに奉納される太々神楽と杜煙火（もりはなび）を楽しみにしている人も多く、コロナ前は小さな社に毎年3000人も参拝者が押し掛けました。この太々神楽は長野市、また杜煙火は長野県の無形民俗文化財に指定されており、犀川神社の氏子を構成する差出、大門、小路、西河原の4地区が協力して保存・奉納を続けてきました。しかし、今年もコロナの感染状況を考慮して宵宮祭りは中止にすることとし、例年広く広報していた祭りについても今年PRすることなくただ単

に神社に神楽と煙火を奉納したという形をとることにしたものです。コロナとはいえ3年も続けて中止になると伝統文化を守っていくのも大変なことだから、今年も例年より時間を繰り上げ、また規模も太々神楽は小西と大門に限定、あわせて文政7年(1824年)から受け継がれている伝統の手作り煙火・杜煙火の奉納を実施したものです。奉納当日の9月21日は午後6時半から始まった巫女舞に続き、太々神楽と煙火の奉納が行われ、境内に集まった大勢の人たちと共に深まりゆく実りの秋に感謝していました。



企業を訪ねて

信州のソウルフード「おやき」、その一大PR拠点が高速道の長野インター近くに完成しました。いろは堂の「OYAKI FARM」。工事中から大きな建物で何のお店かなりと興味は持っていたものの、「おやき」のお店と聞いて県都・長野市の玄関口にふさわしいお店が出来たと思ったものです。店内に入ると何とも開放的な明るいお店で、見学コースもあり来店者は自由にその製造過程を見ることが出来るようになっていきます。ガラス張りの工場の中では常に30人程の人たちが忙しく働いていました。あんこなどペースト状の物は機械で製造していますが、その他のミックス野菜、野沢菜といった多くのものは手作業で包んでいくそうです。そして、なんと毎日1万個のおやきを製造し県内をはじめ全国へ発送しているということ、「おやき」恐るべし！

この後、松代町にある警察官になったばかりの若者たちが学ぶ長野県警察学校を訪ねました。残念ながら実際の授業風景は見る事が出来ませんでした。案内を担当してくださった女性の校長補佐・伊藤さんの話から授業・訓練は相当厳しいという事が分かりました。「本当に逃げ出しなくなるほど苦しいです」若いころを思い出しながら伊藤校長補佐がしみじみ話されたのが印象的でした。訓練は男女の区別なく行なわれるそうです。そして、生徒たちの了解を得たうえで男女それぞれが、整理された部屋のなんと綺麗なことか・・・「見習いたい」「恥ずかしい」・・・女性参加者の皆さんの感想でした。そして、皆さんの大きな楽しみ！お昼です。今回は長野駅東口でのお寿司です。若者たちの厳しい訓練の話に少し堅い面持ちだった参加者の皆さん、さすがに美味しいものを前に笑顔に変わりました。本当は会話を楽しみたいところですが、コロナを考えると静かに食事を進めて、さあ午後の部です。午後一番は、こんなところに地下施設？・・・なんと中心市街地の地下に存在する中部電力の変電施設、一般家庭1万2千軒分の電力を扱う施設は主に長野駅



から中心市街地に至るオフィスや商店等のエリアをカバーしているとのことでした。それにしても長野市の真ん中、地下20メートルにこんな施設があるとは・・・最後にNHK長野を訪ね、普段のニュースづくりについて取材から放送までの過程を丁寧に教えていただきました。また模擬スタジオで自らキャスターになってニュースを読ませていただき、安茂里の方は上手ですねとお褒めの言葉を頂いた参加者もいました。

中学生とおじさん達が
今年の冬の煌きは★☆☆★奮闘!

今年も中学生と一緒に皆さんたちも頑張りましたよ！毎年、安茂里市民センターの駐車場を飾る「冬のイルミネーション」。その飾り付けが9月30日に行われました。毎年のことですが、おじさんたち1年経ってしまうと何処へどの支柱を建てたのか、このコードは何処につながったのか記憶が残っていません。20人余りのおじさんたちの会話を聞いているといっそう訳が分からなくなります。何せおじさんたちです、船頭が多すぎます。「この杭はあっちだ」と言われ持つて行ったと思ったら、「あれ、あの鉄杭は？」、「あそこに」、「ダメダメ！あんなところに持つてつちやダメ。こっちこっち」



「はい、分かりました」：「この電飾は何処でしたっけ？」「アンズの木にかけたんじゃない」「いやいや、電車から見える南側」とか、あつちでもこつちでも頼りない会話が展開されています。そんな傍らで中学生と高校生グループの担当部分はどう進み、もうひと頑張りです。一方おじさんたちは：という困り顔をしながらも色々相談・確認しながら進め、少しずつではありますが徐々に形が表れてきました。中学生たちに遅れはしましたが、開始から約3時間で住自協の役員さんや区長さんたちのおじさんグループも無事完成です。ドタバタでしたが、あとは無事電飾が光ってくれるかです。その点灯式が先月21日に行われ無事点灯、問題はその出来具合です。是非一度皆さんも中学生とドタバタおじさんたちのイルミネーション：ご覧あれ！

第31回 杏の里文化講演会

講師 ヘブンアーティスト 好田 タクト さん
落語家 快楽亭 狂志 さん
日時 11月19日(土) 午前10時～
場所 安茂里公民館 2階ホール ※入場無料

定員 50名
申込み 11月14日(月)・15日(火)・16日(水)
8:30～17:00 ☎ 226-4059

好田タクトさんは、クラシック音楽の指揮者の形態模写をされる芸人さんです。快楽亭狂志さんは安茂里小学校の講師でもあり、落語家さんでもあります。皆様で楽しい時間をお過ごしください。お申し込みのうえご来場ください。

生活文化講座

◎安茂里のバリスタを目指して

美味しいコーヒーの楽しみ方講座

講師 佐藤 海
日時 11月16日(水)
午前10時～

定員 12名
申込み 10月26日(水)～

◎ジャズに魅せられて

講師 ニューモダン デュークス
渋谷 レイコ

日時 11月30日(水)
午後1時30分～

定員 30名
申込み 11月8日(火)～

◎お正月まで飾れるクリスマス
のツリーアレンジメント

講師 戸津 泰征
日時 12月21日(水)
午前10時～

持ち物 エプロン、タオル
花バサミ、軍手、
申込み 11月29日(火)～

※申し込み時間は各講座とも午前8時30分からです。

豊かな生活育てましょう
安茂里公民館 226-4059

新刊のご案内

※貸し出しは、お一人5冊まで、2週間です。

また南部図書館の蔵書もリクエストできますので、窓口に申し付けください。

書名	著者名	著者名	著者名
小説8050	林 真理子	真山 仁	真山 仁
くるまの娘	宇佐見 りん	夜に星を放つ	窪 美澄
老～い、どん! 2	樋口 恵子	紙の鼻	眞井 徳郎
かきごおりおまちどうさま	ふくだ じゅんこ	妖怪コンビニ	令丈 ヒロ子
68歳、ひとり暮らし。きょう何食べる?	大庭 英子	ちいさいごみしゅうしゅうしゃぱっくんはどこだ?	オームラ トモコ
		信州おやき大百貨	小出 陽子